

製品のお手入れについて

表札も家や車、庭のお手入れと同じ!!

未永く美しい状態を保つ為には日頃のお手入れが欠かせません。

【高圧洗浄機は使用しないでください】

いずれの製品に対しても、高圧洗浄機は絶対に使用しないでください。塗装の剥離や変形等、製品を傷める原因となります。



「ステンレス製品」のお手入れについて

■ステンレスの特性

※表面がヘアライン仕上の場合、必ずヘアラインの目に沿って文字イラスト部分を避けて拭いてください。

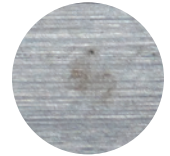
ステンレスは鉄を中心とした合金です。合金内に含まれているクロムが空気中の酸素と結びついて皮膜を形成して表面を保護しています。この皮膜のおかげで、サビにくい状態になっています。しかし表面の酸化皮膜(保護皮膜)がなにかの原因でキズつけられ、その皮膜の再生に必要な空気中の酸素がしや断された状態で放置されると、その部分がサビる事があります。ただ初期の段階では、内部まで浸食される事はほとんどなく、**サビの部分除去すればもとの表面状態をとりもどすことができます。**

サビが発生しやすくなる主な原因は以下のようなものがあります。

サビの主な原因	① 海岸地帯(特に10km圏内)の潮風に含まれる塩分	⑤ 各種工場、ごみ焼却場、ビル冷暖房設備などから発生するすすや排気ガス
	② 指紋のあとや手あか	⑥ 油脂類、セメントなど
	③ 工事あるいは車両の走行の際、飛散する土砂、ホコリ、鉄粉	⑦ 温泉地帯で発生する腐食性ガス
	④ 自動車の排気ガス中に含まれる亜硫酸ガスなど	

弊社製品で使用しておりますステンレスは「SUS304」という、ステンレスの中でも耐食性に優れた上質なサビにくい素材を使用しておりますが、絶対にサビない金属ではありません。

使用条件や環境によっては、鉄粉、塩分、その他の異物の付着による「もらいサビ」を受けることがあります。未永く美しい状態を保つために、定期的な“お手入れ”をお願いします。



もらいサビ例

■お手入れ回数目安(回/年)

	田園地帯	市街地	道路・線路の側	工業地帯	海岸地帯
お手入れ回数	2~4	4~6	6~8	8~10	10~15

※台風や雨上がりの後は、目安に関係なくお手入れされることにより、酸性雨等のダメージを防ぐことができます。

■お手入れ方法

汚れが軽い場合	ホコリやチリ等を取り除き、水で濡らしたやわらかい布で拭いた後、から拭きしてください。
汚れがひどい場合	中性洗剤を薄めた液で汚れを落とし、洗剤が残らないようにしっかり水洗いした後、やわらかい布でから拭きしてください。
サビた場合	市販の中性サビ落とし剤(ジェル状がおススメ)をご利用いただき塗装周辺は擦らずに処置を行ってください。 ※ 弊社でも販売しております。



※いずれの場合も必ず十分に水拭きをして、洗剤などが残らないようにしてください。放置しておくと、サビの原因になります。
※シンナー・ベンジン・みがき粉・タワシなどを使って清掃しないでください。変色・キズ・破損・塗装ハクリをおこす原因になります。
※表札をお手入れする場合は、文字・イラスト等を拭かないでください。

「真鍮・ブロンズ(銅)製品」のお手入れについて

■真鍮・ブロンズ(銅)の特性

真鍮、ブロンズ(銅)の最大の特徴は、独特の美しい色調と経年変化による味わいです。

真鍮、ブロンズ(銅)製品は空気に触れると酸化し、褐色→黒褐色、緑青色へと推移します。

弊社製品は変色の進行を遅らせるため、クリアー塗装によるコーティングを行っておりますが、クリアー塗装は空気を完全に遮断することはできませんので、環境によって時期は異なりますが、変色は避けられません。緑青は、水に溶けにくく無害です。

■お手入れ方法

汚れが軽い場合	ホコリやチリ等を取り除き、乾いた柔らかい布で、傷をつけないように拭き取ります。雨上がりに行きますと酸性雨による腐食を防ぐことができます。
汚れがひどい場合	製品についている汚れを洗い流します。水で濡らした柔らかい布で傷をつけないように拭き取ります。汚れが目立つ時は中性洗剤を薄めた液で汚れを落とし、洗剤が残らないようにしっかり水洗いした後、やわらかい布でから拭きしてください。



※酸性洗剤・アルカリ性洗剤・シンナー・ベンジン等は、腐食の原因となる恐れがありますので使用しないでください。
※金属性のブラシ・やすり・金属タワシ・研磨剤入りのワックス等は製品表面をキズつける恐れがありますので使用しないでください。
※いずれの場合も必ず十分に水拭きをして、洗剤などが残らないようにしてください。